

平成28年度教育に関する事務の管理
及び執行の状況の点検・評価報告書

平成30年3月
東栄町教育委員会

はじめに

東栄町教育委員会では、平成28年3月に策定した「第6次東栄町総合計画 山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里」の「豊かな文化と心を育むまちづくり」を施策の基本方向とし、併せて策定した教育大綱に基づき着実な推進に努めているところであります。これらで掲げた政策目標の達成に向けて、毎年度、施策評価を行い、翌年度以降の取組に生かすとともに、その内容を地方教育行政の組織及び運営に関する法律による、「教育に関する事務の管理及び執行の状況」の点検及び評価等の報告書として位置づけ公表します。

報告書の構成

I 施策と評価	1～11
II 施策の実施状況	12～21
III 参考資料（主要事業実績・主要行事实績）	22～33

基本方針 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 1 学校教育

○現状と課題

- ・小・中学校ともに児童・生徒数が減少し、小規模校となる中、学習指導の充実や教職員の質の向上を図るとともに、小・中学校の教員や地域が連携し、小中連携教育の研究を行っていくことが重要です。また、保育園と小中学校との間で、児童の食物アレルギー情報の提供など健康分野での連携がとれていますが、これをさらに広い分野での連携関係にしていくことが望まれます。
- ・小・中学校の児童・生徒の減少に伴う教育のあり方に対応した教育施設や設備の整備を行うことが必要です。
- ・町内には高校がなく、町外高校への就学を余儀なくされており、都会と比べ、保護者の経済的負担が大きくなっています。

○施策がめざす将来の姿

- ・小学校と中学校の教員、地域が連携することで小中連携教育が進んでいます。
- ・時代を見据えた教育内容、教育方法等により多様な学習活動が実施されています。
- ・児童・生徒の特性を把握し、一人ひとりの良さや可能性を伸ばす教育がされています。
- ・保育園、小学校、中学校の連携が一層進み、とぎれのない保育・教育が行われています。
- ・希望に応じて高等教育が受けられる環境が整っています。

○個別施策

1-1 きめ細かな教育の推進

小規模校としての特性を生かし、一人ひとりに応じた学習指導を行い、基礎学力の向上を図ります。

支援が必要となる児童や生徒に対して、特別支援教育の支援員を配置するなど、きめ細かな教育を行います。

【主な事業】：特別支援教育支援員事業

1-2 知・徳・体が調和した教育の推進

基礎学力の向上をはじめ、道徳教育、国際理解教育、環境教育、情報教育、食育、職業体験など、各種教育に力を入れ、知・徳・体のバランスのとれた教育を行います。

ふるさと東栄を学び、ふるさと東栄を愛する天地人教育を推進します。

小・中学校へALTを派遣し、英語教育の充実を図るとともに中学生の海外派遣として、ホームステイや交流体験を行うことで、言語や文化の違いを体験し、豊かな国際感覚を身につけるように進めます。

【主な事業】：外国語指導助手設置事業 中学生海外派遣事業

1-3 連携教育の推進

小中学校が各1校であるため、教育目標やカリキュラムの共通している部分を協力して行います。

教育の充実を図るため、保育園と小中学校における教育分野での連携について研究していきます。

中高一貫教育を進めている田口高校との連携を密にしていきます。

いじめ問題や不登校等の子どもに適切に対応するため、児童・生徒の心に寄り添う相談体制の充実と早期の対応を図ります。

【主な事業】：保・小・中連携教育研究事業 保・小・中連携教育事業

1-4 小中学校の施設・設備の充実

教育環境を整えるため、計画的に修繕、工事、備品購入等を行い、小学校、中学校における施設や設備の充実を図ります。

【主な事業】：小中学校施設管理整備事業

1-5 高校への就学支援

高校への就学を支援するため、通学費や授業料の一部を補助します。

【主な事業】：高校生通学費補助事業 私立高校授業料補助事業

○協働の進め方

- ・特別支援教育支援員により、一人ひとりに応じたきめ細かな教育を行います。
- ・地域住民を講師にした学習指導、部活動指導、ふるさと学習、職業体験などの総合的な学習を推進します。

個別施策	平成28年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
1-1 きめ細かな教育 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・東栄町がめざす学校教育研究委員会を継続。 ・指導方法の工夫・改善のために校内現職研修を中心に教員の指導力の向上に努めた。 ・各学校に支援員を配置し、個に応じた学習を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成。 ・個に応じた指導のあり方の研究と校外研修の充実を図る。 ・今後も学校の実情に応じて支援員の配置が必要である。
1-2 知・徳・体が調和 した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・東栄町がめざす学校教育研究委員会を継続。 ・ALTによる英語教育の実践。 ・カナダへの中学生海外派遣事業の実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成。天地人教育の実践。 ・今後も研究を推進する。 ・今後も国際理解教育の充実を図る。
1-3 連携教育の 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校内現職教育委員会にて保・小・中連携教育の研究委託を継続。 ・田口高校を軸とした北設楽中高一貫教育に正式に参加し、英語・数学の授業交流、サマーセミナーの実施、文化祭交流などの一貫事業を展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成。 ・北設楽中高一貫教育推進委員会での多方面からの議論が必要。
1-4 小中学校の施設 ・設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・整備の維持管理の実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校環境の向上を図った。(中学校校舎壁塗装工事実施) ・共同調理場では、安全でおいしい給食を提供することができた。
1-5 高校への 就学支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高校への就学を支援するため通学費や授業料の一部補助を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生のいる家庭への支援をすることができた。

基本方針 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 2 家庭・地域における教育（青少年の健全育成）

○現状と課題

- ・子ども達が地域との関わりを持てる場が少なくなり、世代間や異年齢の子ども達との交流が減っているため、規範意識や社会性の低下が懸念されます。また、少子化が進み、子ども組織の地域活動が衰退しており、これに伴い地域における子どもの居場所がなくなってきています。
- ・また、子どもへの教育は家庭での教育が基本ですが、核家族化や共働き家庭が増えたこともあり、最近は親子がふれあえる時間も少なくなり、家庭での教育力も低下しています。そのため、「子どもは町の宝」として地域で支える仕組みづくりを行うとともに、親子でのふれあいを通じ、生活習慣の基本を身につけられるようなしつけなどに関する支援が求められます。

○施策がめざす将来の姿

- ・子どもたちと地域との関りが強く、地域が一丸となり子どもの健全育成を推進できる体制ができています。
- ・親子のふれあいの場や対話の機会が設けられています。

○個別施策

2-1 家庭教育力の向上

家庭における親と子のふれあいの場が確保でき、また、児童が人との関わり方や生活習慣の基本を身につけられるように、保護者に対するしつけなどの家庭教育の支援や相談体制の充実を図ります。

【主な事業】：家庭教育支援事業

2-2 児童の健全育成

放課後の子ども達の安全で健やかな居場所づくりを推進するとともに、仕事や社会活動と子育てが両立できるように、保育所の延長保育の時間にあわせて放課後児童クラブの開所時間の延長を図るなど、放課後児童クラブの充実を図ります。

小学校の放課後や長期休暇等において、児童が安心して過ごせるようボランティアによる体験指導を行うなど、放課後児童クラブの内容の充実を図ります。

【主な事業】：放課後児童クラブ運営事業 体験指導者登録事業

2-3 子どもの居場所づくり

町中心部に子どもから大人までが、安全に集い、過ごせる児童公園を整備します。

子ども達の健全育成に向け、児童公園、のき山学校、図書室等を子ども達の居場所とするとともに、組や区などの地域で実施する行事等に子ども達が参加しやすい環境を確保でき

るように支援します。

子どもと高齢者が、家族の垣根を越えてふれあい、また、子どもが高齢者から学ぶ機会創出することで、地域一体となった子育てと郷土を愛する意識の醸成を図ります。

【主な事業】：児童公園整備事業 健全育成環境づくり事業

出会い、触れ合い、学び合い事業

○協働の進め方

- ・家庭教育力の向上を図るため、地域やP T A、学校との連携強化を図り、保護者への支援を行います。
- ・ボランティアによる体験学習を行います。
- ・子ども達が地域活動に参加しやすくなるような支援を行います。
- ・地域が一体となって、郷土を愛する子ども達を育みます。

個別施策	平成28年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
2-1 家庭教育の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の折に、家庭教育に関する事業を積極的に開催し、情報の提供を行った。 ・親子人形劇鑑賞教室を開催し、幼年期から芸術に触れる機会を創出した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には、よりレベルアップした教育力の蓄積を、幼児・児童には情操教育の充実を図ることができた。 ・親子で体験した内容を家庭に戻って再度共通の話題とすることで輪を深める効果も見られた。 ・今後は上記の成果を家庭で十分生かせるための支援体制を整える必要がある。
2-2 児童の健全育成	住民福祉課事業	住民福祉課事業
2-3 子どもの居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知大学との包括協定に基づく「サマースクール」は、産業会館を主会場とし、学生主体の体験学習を展開した。 ・民生委員を中心とした、スクールガードをはじめ、地域見守り隊や子ども110番の家などを配置し、安全かつ健全に登下校できる体制を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境で新鮮な気持ちの中、参加する学生が考えるカリキュラムを実施することで新鮮味が増大した。新たな体験により学生との交流が深まり、子どもたちに人間性・社会性の向上が見られた。 ・保護者のみならず、地域のお年寄りや女性などにも学校と関わりを持つ機会が増え、自然と明るいあいさつの飛び交う環境を創設できた。

基本方針 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 3 生涯学習・生涯スポーツ

○現状と課題

- ・生涯学習では、生涯を通じて学び成長する機会に対するニーズは多様化していますが、講師の確保が困難であるため、住民ニーズに対して十分な講座の開講ができていません。
- ・生涯スポーツによって体力や健康の保持、増進が図られますが、スポーツ人口や指導者が減少しています。
- ・総合社会教育文化施設では、利用促進に向けての積極的なPRを行っているものの、利用者数の減少と共に収益も減少しています。ハード面では、各施設の老朽化が目立っており、花祭会館の耐震性も課題となっています。また、ソフト面では、各種体験メニューを実施するなどの積極的な事業展開には至っていません。

○施策がめざす将来の姿

- ・多くの住民が生涯を通して自主的に学習できる機会が充実し講師の育成もできています。
- ・子どもから高齢者まで、多くの住民が気軽に参加できるスポーツ環境が整っています。
- ・総合社会教育文化施設が町内外の多くの方に利用され、適切に管理運営されています。
- ・施設が計画的に改修・修繕され、安全かつ快適に使用されています。
- ・夏・冬・春休みや長期連休に、スポーツ合宿や研修の団体利用が活発に行われています。
- ・生涯学習施設の持つ集会施設としての価値や博物館的価値、または総合的なスポーツ施設としての価値を存分に生かした諸事業が展開されています。

○個別施策

3-1 生涯学習の充実

多様な学習ニーズに対応するため、民間の人材やノウハウの活用を図るとともに、地元の学校や東三河管内の生涯学習実施期間との連携などにより、各種講座の充実を図ります。住民からの自薦・他薦で、個々の町民が持っている知恵や技などを出してもらい登録する「人材バンク登録制度」を創設し、体験学習会などの講師を担います。

【主な事業】：生涯学習講座開講支援事業 指導者・ボランティアの養成事業
人材バンク登録事業

3-2 スポーツ活動の充実

子どもから高齢者までだれもが楽しむことができ、地域が一体となって取り組むことができるスポーツ活動の充実に努めるとともに、各種スポーツ団体の活動を支援します。

【主な事業】：生涯スポーツ実施事業 町民体育祭の開催

3-3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進

管理施設の中で、屋根や壁、柱など構造部分に関する改修・修繕等が必要な施設について、

改修計画を策定し、緊急度に応じて改修・修繕等を行います。

施設の利用促進に向けて、利用者を待つばかりでなく、周りの環境を生かした企画事業を実施し、積極的な利用者拡大を図ります。

【主な事業】：施設管理事業 企画事業の開催

○協働の進め方

- ・子どもから高齢者までの町民全員が参加し楽しめる町民体育祭を開催します。

個別施策	平成28年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>3-1 生涯学習の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の社会教育施設、体育施設などを有効に活用し、14の講座を開設し、のべ66回の講座を精力的に運営した。 ・平成28年度現在、延べ46名のボランティア指導者の育成ができ、それぞれの持ち場で活躍をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が安心して安全に講座を受講できる受け皿を安定して提供することができた。 ・今後も町営施設を有効活用した講座運営を展開し、利用率向上にもつなげていきたい。 ・教えることの喜びを日々受講生とのふれあいの中から見出し、新たな生きがい創出に寄与することができた。指導者層の高齢化や人材発掘が課題。
<p>3-2 スポーツ活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰でも参加でき、誰もが楽しめる」ことを第一目標とし、競技を生涯スポーツ講座のメニューに取り上げ実施した。 ・名古屋グランパスサッカー教室及びJ1試合観戦を行った。 ・中日ドラゴンズの選手を招き、3町村合同で野球教室を開催した。 ・町民体育祭を開催できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから年配者まで多くの町民の参加を得て、スポーツの楽しさを味わうことができた。 ・より高度な指導や試合に触れ、スポーツに対する意識を高めることができた。 ・今後はより幅広い世代から支持される競技種目を取り入れて普及・浸透させることが必要である。 ・町民全体でスポーツを楽しむことができた。
<p>3-3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる予約システムを運用している。 ・総合文化施設の管理運営については、シルバー人材センターを指定管理者として、適正に管理を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット利用による予約の利用が少ないため、PRに努めたい。 ・施設の老朽化に伴う修繕必要箇所が年々多く発生し、維持管理費用も増大している現状を踏まえ、抜本的な運営形態・施設整備の見直しが急務である。 ・グリーンハウスの利用率向上のためPRに努める。また、周辺環境を活かした体験メニューなど、自主事業の実施が必要である。

基本方針 豊かな文化と心を育むまちづくり

基本施策 4 文化の保存と継承

○現状と課題

- ・過疎、少子化が進む中、花祭やシカウチ行事といった民俗芸能の保存・伝承を担う後継者が不足しており、後継者の確保、育成が必要です。
- ・町の文化を保存・継承していくため、民具や古文書など有形文化財の価値を広く住民に理解していただくとともに、散逸防止を図ることが必要です。また、これまで収集してきた収蔵物の活用等についても検討することが必要です。

○施策がめざす将来の姿

- ・花祭りやシカウチ行事などの民俗文化が広く住民に理解され、多くの後継者や指導者が育成・確保され、確実に後世に伝承されています。
- ・文化財に対する正しい理解と愛護意識が多くの住民に備わり、保存のみならず、これを活用した講座や教室が開催され、より多くの住民が文化財に関する知識を身につけています。

○個別施策

4-1 後継者育成の支援

保存団体の実状を的確に把握し、それに応じた人材確保策について、保存団体と協議・検討を行い、必要な策を講じます。

【主な事業】：後継者育成事業 無形民俗文化財PR事業

4-2 文化財の保存・継承環境づくり

住民に地域の歴史や文化に対する認識を促し、愛護意識を高めるため、町内に存在する文化財のPRを強化するとともに、文化財を活用した学習講座の開催など、貴重な文化遺産の周知に努めます。

また、花祭会館の改修など、文化財を保存・展示する環境整備を図ります。

【主な事業】：文化財講座開催事業 無形民俗文化財PR媒体整備事業
花祭会館改修事業

○協働の進め方

- ・盆踊りの担い手を育成する子ども向け講習会の実施を支援します。
- ・地域の文化財について、町民の知識を深めるため、専門講師を招いた講座を実施します。

個別施策	平成28年度の実施(達成)状況	得られた効果と今後の課題
<p>4-1 後継者育成の 支援</p>	<p>・県・町費を有効活用した、無形民俗文化財に対する補助事業を積極的に実施した。</p>	<p>・花祭、しかうち行事、はね込みなどの保存伝承と後継者育成に寄与することが出来た。</p> <p>・今後は、年々減少傾向にある伝承者をどう有効に支援するかが課題となる。</p>
<p>4-2 文化財の保存・ 継承環境づくり</p>	<p>・町内の国県指定の無形民俗文化財の保存団体に対し、補助金の交付を行った。</p> <p>・東栄町の盆行事調査報告書を発行した。</p>	<p>・今後も保存に向けての修繕が必要な文化財には地域と共に個体の適正保護・修復を施していく必要がある。</p> <p>・「しかうち行事」、については、引き続き調査し、保存伝承に努める必要がある。</p> <p>・平成25年3月に国登録有形民俗文化財となった大入の花祭祭具及び関連資料194点は、適切な管理と効果的な公開を行う必要がある。</p>

7. 教育

<学校教育>

東栄町の学校教育は、教育基本法及び学校教育法の示された目的及び目標の実現を図るため、児童・生徒の発達に応じ、生涯に渡り豊かな人間性を形成するための基盤と基本を会得させ、「知・徳・体」の調和のとれた教育を実践した。又、本町独自の学習指導に「天地人教育」を導入し、東栄町の自然や人材を各学校が独自の素材をとり上げ創意工夫をこらした学習を展開した。

平成 26 年度から学校給食共同調理場が稼働し、安全でおいしい給食を提供している。

①天地人教育の推進

郷土を愛し人間性豊かな人づくりを目標とし、東栄町の豊かな自然と多くの人々により培われてきた尊い歴史を、児童・生徒の教育の場としてその実現に努めた。

②町現職教育研究事業の推進

生きる力に満ちた児童生徒の育成をめざして、専門職としての資質を高め「天地人教育」の理念を実践することを目的に、小中学校教職員で町現職教育事業4委員会(企画・天地人教育研究・書写造形実技・小中連携)を設置し、へき地教育等の実践に取り組んだ。

③学校施設等整備

東栄中学校における校舎外壁塗装工事、網戸取付工事・救助袋取替工事等を実施した。

④中学生海外派遣事業

国際理解教育の一環として平成 28 年 5 月 19 日から 24 日までの 6 日間、東栄中学校 3 年生 26 名をカナダに派遣し、市内見学などの研修を実施した。

⑤小学校外国語活動

新学習指導要領に基づく外国語活動では、中学校へ配属している外国語指導助手(ALT)を小学校へ派遣し、英語を通じて言語や文化について、体験的に理解を深めコミュニケーション能力の素地を養うことができた。

⑥連携型中高一貫教育推進

平成 26 年度から「北設楽中高一貫教育推進委員会」に参加し、愛知県立田口高等学校と郡内全中学校との連携型中高一貫教育を始めた。田口高校からは英語・数学の教員が各 1 名、東栄中学校からは英語の教員が 2 名、交流事業を行ったほか、夏休み中に 1 泊 2 日で 1 年生 15 人が高校演習林におけるサマーセミナーに参加した。

また、平成 28 年度入学者から、田口高校の連携型入試で受験することとなった。

⑦総合教育会議

平成 27 年 4 月 1 日に一部改正して施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第 1 条の 4 第 1 項に基づき、地方公共団体の長は教育大綱の策定に関する協議等や、児童・生徒の生命等に関する緊急事態の措置など協議するために、総合教育会議を開催した。

小中学校の状況

平成 28 年 4 月 1 日現在

区 分	教員・職員数						学級数	児童・生徒数						
	教員	養護	事務	栄養	講師	計		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
東栄小学校	11	1	1	0	1	14	8	14	16	21	17	26	16	110
東栄中学校	15	1	1	1	0	18	5	14	20	26	—	—	—	60
合 計	26	2	2	1	1	32	13	—	—	—	—	—	—	170

学校教育主要事業

単位:千円

事業名	対象	内 容	事業費	財源内訳			備考
				国 県 支出金	その他	一般 財源	
小学校 水泳指導事業	小学校	インストラクターによる 水泳指導 (7/4・7/11 B&G プール)	170	0	0	170	
小学校 臨海学習事業	小学5年生	海での泳力や体力の向上、 産業の学習 (7/21～7/23 篠島)	793	0	224	569	
農業体験学習 事業	小学校	学校農園等での農作業 体験学習	21	0	0	21	
中学校海外派遣 事業	中学3年生	カナダ・RCA校訪問等(5/19～ 5/24)	7,686	0	1,560	6,126	生徒26名
進路指導事業	中学校	進路指導資料収集、 学校訪問等	142	0	0	142	
中学校部活動 補助事業	中学校	体育的部活動の派遣費、 運営費の補助	554	0	0	554	
スキー教室 事業	小・中学校	スキーを通じた集団行動、 スキー技術向上 (東栄小 1/12 東栄中 1/19)	452	0	0	452	
環境整備事業	小・中学校	学校花壇等の環境整備	40	0	0	40	
あいち出会いと 体験道場推進 事業	中学校	キャリアスクールプロジェクト、職 場体験等	35	35	0	0	

教育費補助金の状況

項 目		名 称	補助額(円)	使 途
教育総務費	教育委員会費	私立高等学校授業料助成金	144,000	公私立学校間の授業料格差是正 該当者 12 名 1 名 12,000 円
		高校生通学等支援事業補助金	3,742,000	高校生への通学等補助 該当者 62 名 高等学校から最寄の駅までの通学費
		農業体験学習事業費補助金	21,000	農業体験学習に係る小学校への補助
小学校費	学校管理費	小学校臨海学習費補助金	568,600	小学校5年生の宿泊学習に伴う費用補助 (7/21～7/23 篠島) 児童 26 名 教員 6 名
		小学校水泳指導費補助金	170,000	水泳指導に要する経費の補助
小学校費	教育振興費	小学校地域体験学習補助金	70,000	米作りの体験学習に対する補助
中学校費	学校管理費	中学校海外派遣事業費補助金	200,000	中学生海外派遣事業に係る経費の補助 (5/19～5/24 カナダ) 生徒 26 名 引率 5 名
中学校費	教育振興費	自転車通学生徒補助金	45,000	自転車通学生徒への補助 (中学校在籍初年度のみ補助) 該当生徒 3 名 1 名 15,000 円
		特別支援教育就学奨励費	143,530	特別支援学級の生徒児童に対する補助
		進路指導費補助金	142,000	進路指導資料、学校訪問等に係る補助
保健体育費	保健体育費	スキー教室バス補助金	451,600	スキー教室に伴う児童生徒輸送バス代金等補助 東栄小学校 334,500 円 東栄中学校 117,100 円
		中学校体育活動費補助金	554,163	中学校体育的部活動の派遣費、運営費補助 東栄中学校
		小中学校環境整備事業補助金	40,000	校内、花壇等の環境整備に係る補助 各小中学校 1 校 20,000 円

<社会教育>

(1) 幼児・青少年・成人教育

様々な年齢層の学習機会を確保するため、生涯学習講座の年間にわたる開設を中心におき、その発表の場としての文化祭を開催するなど、社会教育活動の関連性を深めるよう事業を構成した。

生涯学習講座は、町民の意欲的な指導協力をもとに、小中学生から一般成人までが幅広く取り組めるように全14講座を開設し、のべ69回の講座を行った。受講者の学ぶ楽しみと講師の教える喜びが融合して、充実した生涯学習活動を展開することができた。

文化祭の作品展示会には文化クラブの他個人での参加もあり、老若男女を問わない幅広い展示を行うことができた。

文化協会の自主的な事業展開を促進するため、通常の補助金に加え自主事業補助金を支出し、親子学習会や講演会、現地視察事業展開の補助を行った。

平成26年度から開催している小学校5・6年生対象の英語教室は、34回を開催し、充実した英語学習を行うことができた。

(単位:千円)

事業名	対象	内容	事業費	財源内訳				備考
				国県支出金	起債	一般財源	その他	
文化祭	一般	町民作品展示会 (4日間) 文化講演会 町民芸能まつり	672			672		展示会 25団体 芸能まつり 23演目
成人式	新成人者	新成人を祝う記念式典を 挙行 ・クラリネット四重奏のアトラ クシオン	206			206		新成人 23名
文化協会助成 事業	文化協会	文化協会の活動費 自主事業への補助	550			550		会員数 215名
生涯学習の まちづくり推進 事業	一般	町民講座を中心とした生 涯学習の実践 愛知大学との包括協定 による「サマースクール」 の開講	1,324			1,324		生涯学習 延べ参加者 1,203名 サマースク ール参加者 79名

(2)文化財保護

文化財は郷土の歴史や文化の進展の基礎で、町民共有の財産である。そのため、文化財の保護の充実に図るとともに後継者を育成し、貴重な文化遺産の有効な普及活用をした。

文化財審議会においては、文化財の保護を目的とした会議や委員による町内における県・町指定文化財の現状確認調査を実施した。

また、国庫補助事業で「しかうち行事調査業務」を行い、しかうち行事の歴史など専門家に依頼し調査、研究を行った。

(単位:千円)

事業名	対象	内 容	事業費	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	一般財源	その他	
文 化 財 保 存 事 業	花 祭 保存会	国指定無形民俗文化財 11保存会に補助	550			550		各5万円
	シカウチ 行事保存会 下田巫女神楽 下田盆踊り 上栗代の念仏踊り 古戸の念仏踊り 足込の念仏踊り 月の念仏踊り	県・町指定無形民俗文 化財保存団体に補助	100			100		シカウチ 4団体 (布川・月 小林・古戸) 各1万円
	国宝重要文 化財等保存 整備	しかうち行事民俗文化財 調査	2,300	1,149		1,151		総事業費 2,300,000 円 国補助金 1,149,000 円

(3) 社会体育

町民の健康増進と連帯感の養成、人間的融和を目的に各事業を実施した。

青少年への取り組みは、設楽町・豊根村と共同で「北設スポーツ教室」を開催し、「中日ドラゴンズ野球教室」を実施した。教室では 51 名の小中学生が三ツ俣大樹内野手・三ツ間卓也投手の指導を受け技術の習得に励んだ。また、「名古屋グランパス東栄サッカー教室」を開催し東栄FC及び郡内小学生 49 名がスクールコーチの指導を受けた。その他、剣道・空手などの少年少女スポーツクラブへの助成を行い青少年スポーツの推進を図った。

ニュースポーツ教室として「スポーツ吹矢」を初めて実施し、スポーツを通じたコミュニティーづくりが実践できた。

体育協会では、主催事業「第3回東栄マラソン大会」を開催し出場募集を町内外に呼び掛け、ファミリージョギングを追加したこともあり昨年を大きく上回る 345 名の参加者を得ることができた。また、大南博美さんをゲストランナーとして招き「ランニング講座」を行ったほか、選手と共に最長5kmを走っていただき、充実した大会となった。

また 16 年ぶりとなる町民体育祭を開催し、1,500 名の町民が参加しました。

第 11 回愛知県市町村対抗駅伝競走大会に選手団を構成し出場、住民の団結と郷土愛を醸成できた。

(単位:千円)

事業名	対象	内 容	事業費	源				備 考
				内 訳				
				国県支出金	起債	一般財源	その他	
社会体育振興事業	青 少 年	北設スポーツ教室 (中日ドラゴンズ 野球教室)	339			119	220	
		名古屋グランパス 東栄サッカー教室	140			140		
		少年少女スポーツクラブ等 に対する助成	96			96		
	体育協会	体育振興、町民大会、自主事業や主催事業の開催等に対する補助	1,282			1,282		加盟 16 団体
	町 民 体育祭	競技種目 20 種 長縄跳び、玉入れ 年齢別リレー	1,562			1,562		1,500 名 参加
愛知万博メモリアル駅伝大会への選手派遣	一 般	愛知県下の全市町村が参加する対抗駅伝大会に選手団を編成し出場	249			249		町村の部 16 チーム 中 15 位

<東栄町総合社会教育文化施設>

社会教育及び社会体育施設として、町民及び東栄グリーンハウスの宿泊者を対象に活用した。

東栄グリーンハウスについては営業再開5年目で、東栄町シルバー人材センターを指定管理者として管理運営を委託した。

① 利用実績

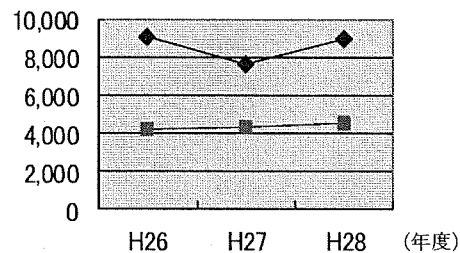
・東栄グリーンハウス

年間利用者の推移

(単位:人)

区 分	延べ利用者数	延べ宿泊者数
平成 26 年度	9,106	4,266
平成 27 年度	7,725	4,334
平成 28 年度	8,968	4,543

(人数)



収入額の内訳

(単位:円)

区 分	使用料	手数料	計
平成 26 年度	6,300,225	0	6,300,225
平成 27 年度	6,374,345	0	6,374,345
平成 28 年度	6,599,790	0	6,599,790

・博物館及び民芸館・花祭会館

区 分		使用料	手数料	使用料	手数料
		民 芸 館	博物館及び民芸館	花祭会館	花祭会館
人 数	27 年度	358	106	3,381	790
	28 年度	633	465	4,124	1,143
収 入 (円)	27 年度	10,920	35,200	303,160	237,150
	28 年度	14,280	59,960	306,425	270,900

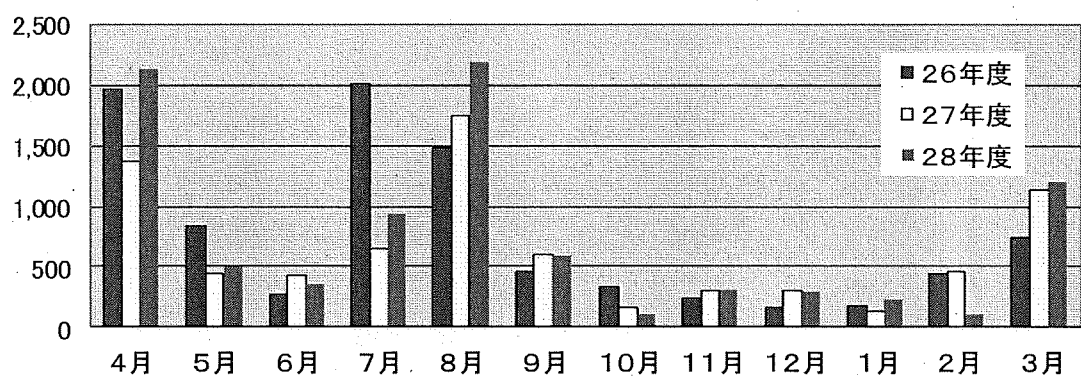
体育施設

使 用 料					
区 分		テニスコート	弓 道 場	体 育 館	研 修 室
人 数	27 年度	790	1,817	5,242	1,154
	28 年度	475	1,292	4,559	0
収 入 (円)	27 年度	150,430	135,100	427,540	113,830
	28 年度	101,720	95,600	366,850	0

区 分		プール	ドーム	グラウンド	野球場	雑 入
人 数	27 年度	2,591	23,524	10,654	5,196	—
	28 年度	2,581	22,813	16,502	5,170	—
収 入 (円)	27 年度	186,830	357,200	82,950	233,870	767,771
	28 年度	52,600	371,120	94,500	192,545	245,937

② 月別利用実績(東栄グリーンハウス)

(人数)



(単位：人)

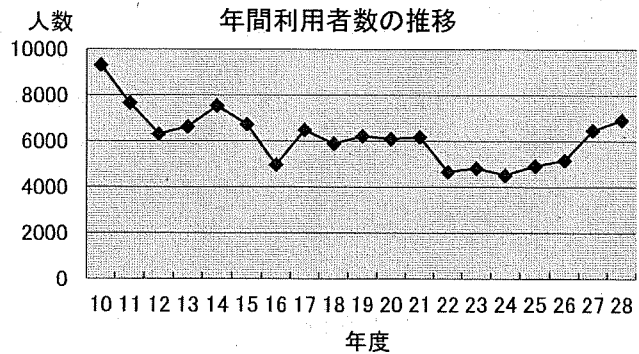
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26 年度	1,965	840	263	2,012	1,475	458	331	241	153	183	438	747	9,106
H27 年度	1,371	440	435	646	1,745	599	155	305	302	127	460	1,140	7,725
H28 年度	2,139	503	354	931	2,203	595	98	316	292	225	111	1,201	8,968

＜ 森林体験交流センター ＞

① 利用実績

・ 推移

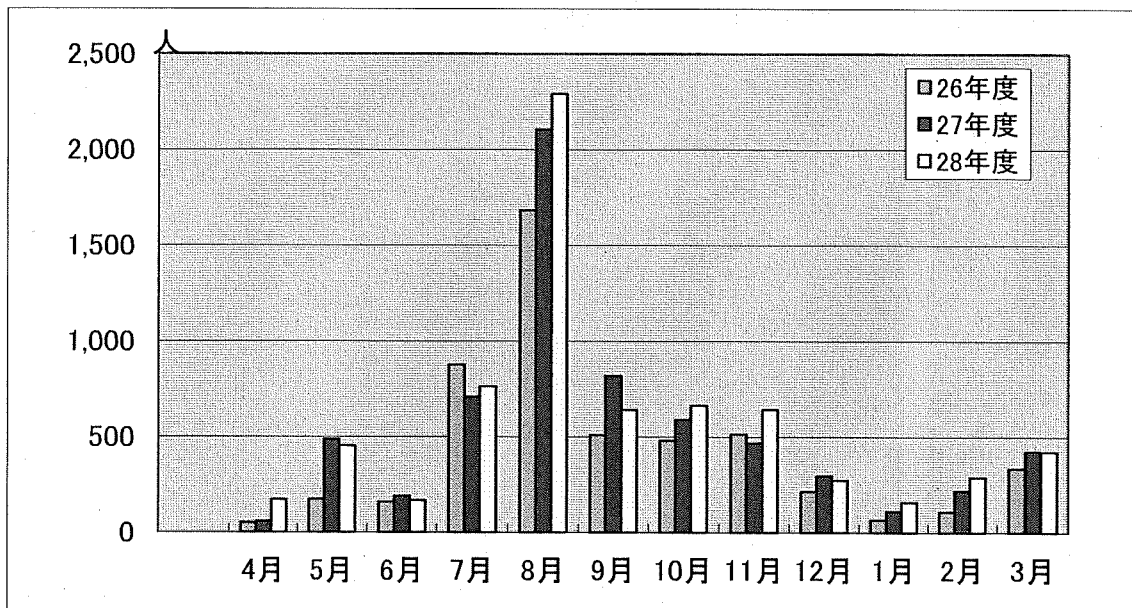
項 目	のべ利用者数	のべ宿泊者数
26年度	5,170人	2,639人
27年度	6,474人	3,169人
28年度	6,933人	3,405人



・ 利用の内訳

区 分		使 用 料			手 数 料		雑入
		センター	バンガロー	Pゴルフ	プラネタリウム	観望会	
人数	27年度	911	2,302	0	2,333	1,159	—
	28年度	911	2,302	0	2,333	1,159	—
収入 (円)	27年度	2,632,100	6,149,100	0	1,045,410		428,557
	28年度	2,528,075	6,650,700	0	1,186,180		469,616

・ 月別利用実績



(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26年度	50	173	160	878	1,683	508	479	513	214	67	109	336	5,170
27年度	57	487	189	707	2,106	819	590	468	297	111	218	425	6,474
28年度	171	453	168	762	2,290	640	664	642	273	157	290	423	6,933

② 天文学習会(教育)関係

町内の小学校を中心に、天文学習会等をおこなった。また、県の高等学校文化連盟の天体観測研修会(毎年実施)の他、高等学校の活動にも積極的に対応し、天文の普及に努めた。

項目	実施日	学校・団体名	参加者数
宿泊訓練	6月2日～6月3日	東栄中学校(1年)	19人
天体観測研修	9月24日～9月25日	高等学校文化部連盟	63人
出前特別授業	1月27日	東栄中学校(3年)	29人
星空観察会	2月3日～2月4日	北設教員会理科部	14人
天文教室	2月17日	東栄小学校(4年)	20人

教 育 課

年	月	日	行 事 名	行 事 内 容	備 考
28	4	1	教職員辞令伝達式	小中学校教職員に対する辞令伝達式	東 栄 町 役 場
		12	東栄町教育委員会	市町村教育委員長・教育長会議等について	B & G 体 育 館
	5	17	東栄町教育委員会	いじめ防止基本方針と条例制定等について	東 栄 町 役 場
		17	総合教育会議	いじめ防止基本方針等について	東 栄 町 役 場
		17	中学校海外派遣事業	カナダ研修 5月19日～24日	カ ナ ダ
		26	学校訪問	公開授業、個別指導等	東 栄 小 学 校
	6	10	東栄町教育委員会	北設楽地方教育協議会等について	B & G 体 育 館
		22	町体育協会総会	事業・会計報告、事業計画・予算審議	役 場 小 会 議 室
		25	名古屋グランパス 東栄サッカー教室	東栄FC及び郡内小学生49名が受講	東 栄 ド ー ム
	7	12	東栄町教育委員会	市町村教育委員会教育長会議等について	B & G 体 育 館
		22	三遠南信教育サミット	教育委員研修会	阿 南 町
	8	9	東栄町教育委員会	市町村教育委員会教育長会議等について	B & G 体 育 館
	9	14	東栄町教育委員会	愛知教育大学と北設楽地方教育委員会の相互連 携に関する協議について	B & G 体 育 館
		24	天体観測研修会	県高等学校文化部連盟 9月24日～25日 63名	森 林 体 験 交 流 セ ン タ ー
	10	7	東栄町教育委員会	北設楽地方事務協議会等について	B & G 体 育 館
		10	町民体育祭	競技種目20種	東 栄 グ ラ ウ ンド
		25	東栄中学校研究発表会 (愛知県へき地教育研究大会)	公開授業、研究発表	東 栄 中 学 校
	11	3～6	町文化祭	5日 文化講演会 6日 町民芸能祭 期間中 作品展示会	総 合 社 会 教 育 文 化 施 設
		7	全国プラネタリウム研修会	日本プラネタリウム協議会(JPA) 11月7日～8日 81名	森 林 体 験 交 流 セ ン タ ー
		15	東栄町教育委員会	市町村教育委員会教育長会議等について	B & G 体 育 館
		28	東栄町就学指導委員会	心身障害児等の状況、就学検討について	東 栄 町 役 場
	12	3	第11回愛知駅伝競走大会	全9区間、町村の部15位	愛地球博記念公園
		12	町体育協会理事会	第3回東栄マラソン大会について審議	役 場 会 議 室
		17	北設スポーツ教室 (中日ドラゴンズ野球教室)	講師:三ツ保大樹選手・三ツ間卓也選手 北設の少年野球及び中学校野球部員ら51名受講	東 栄 中 学 校 グ ラ ウ ンド
		20	東栄町教育委員会	北設楽地方事務協議会等について	B & G 体 育 館
29	1	8	町成人式	新成人23名 記念式典・アトラクション	東 栄 中 学 校 武 道 館
		17	東栄町教育委員会	教職員定期人事異動等について	B & G 体 育 館
		23	施設運営協議会	施設運営状況・平成29年度予算案について	グ リ ー ン ハ ウ ス
	2	2	東三河地区教育委員研修会	教育委員研修会	新 城 市

教 育 課

年	月	日	行 事 名	行 事 内 容	備 考
	2	13	町文化財審議会	平成28年度事業報告 平成29年度の計画について審議	役 場 小 会 議 室
		13	町社会教育審議会	平成28年度事業の実施状況 平成29年度事業の計画について	役 場 小 会 議 室
		16	東栄町教育委員会	市町村教育委員会教育長会議等について	B & G 体 育 館
	3	5	東栄マラソン大会	345名出場	町グラウンド～ 桃 源 橋 手 前
		21	文化財現地調査	浜松地域遺産センター	浜 松 市
		22	東栄町教育委員会	北設楽地方事務協議会等について	B & G 体 育 館
			生涯学習講座	5月から10月にかけて全14講座 69回を開催	各 所